

## 1 Track 05 『ラジオの続き』

正面・遠め（マイクに背を向ける）

（ hnt\_0315）ほむら「ええっと、今度のラジオ収録の台本は……と。  
あ、お便りこれか」

※SE：ボールペンの筆記音

（ hnt\_0316）ほむら「……ん？」

ラジオネーム『処女はつまんないと言われた』さん？  
ひっどいラジオネーム……」

（ hnt\_0317）ほむら「あ、でも女の子からの質問だ」

正面・遠め（マイクに顔を向けながら）

（ hnt\_0318）ほむら「んーと……ふんふん、ふんふんふん……

彼氏にコンドームをつけてあげたいのですが、  
上手くつけられません。経験豊富なほむほむに、  
ぜひコツを教えてほしいです……か」

（ hnt\_0319）ほむら「……まったくもお、

次から次へと難しい質問送ってくるんだから、  
うちのリスナーは……」

（ hnt\_0320）ほむら「その度に実験台にされてる、わたしの弟の気持ちも  
考えてもらいたいよね？ ほんと……」

正面・近め（正面・遠めから近付きながら）

（ hnt\_0321）ほむら「というわけで、今日はコンドームのつけ方をお勉強します。  
……勉強させてもらっても……いい、よね？」

（ hnt\_0322）ほむら「……そういえば、結局ゴムつけてしたのって、  
2回目のエッチの時だけだったよね。

しかもいざつけてしてみたら、  
二人とも頭の中ハテナになっちゃって、  
すぐ外しちゃったし」

（ hnt\_0323）ほむら「やっぱり、最初に生でしちゃうと……ね。

ゴムつけたおちんちんじゃ、お湯で温めたディルドを  
使ってるのと同じだもん」

正面・近め（マイクに背を向けながら）

（ hnt\_0324）ほむら「あ、そうだ。ゴムゴム……適当に通販で頼んでみたんだけど  
大丈夫だね？ 一応ネットで調べて、  
一番薄いのにしてみましたんだけど……」

	正面・近め（背を向けた状態からマイクのほうを振り返りながら）
	（ hnt_0325 ） ほむら「 三枚しか入ってなくて860円って、結構高くない？ お姉ちゃんたちだったたら、一日でなくなっちゃうよね。 それが毎日だから……30で掛けて、 一ヶ月で26000円ぐらい？ 世の中のカップルって そんなにセックスにお金かけてるの……？」
	（ hnt_0326 ） ほむら「 ……ええっと、これどこからでも切れるのかな？」
	※SE：コンドームの袋を破る
	（ hnt_0327 ） ほむら「 んしょ……あ、切れた切れた。で、どっちが表だった？ こう……かぶせる？ あれ、こっちな？」
	（ hnt_0328 ） ほむら「 ……ふっ！ ああ、こっちだった。 まずはこの空気を抜い、て…… もお、触ってもないのに興奮しすぎ。 先っぽにかぶせるよ？」
	※SE：コンドームをつける
	正面・近め（しゃがみながらうつむく）
	（ hnt_0329 ） ほむら「 ……んで、ここから根元に向かって…… しゅるしゅるしゅる……平気？ 痛くない？」
	（ hnt_0330 ） ほむら「 女の子がつける場合って、力加減わからないから、 それがすごく不安。かなり力を入れないと、 根元まで伸びていかないし……」
	正面・近め（しゃがんだ状態で顔を上げる）
	（ hnt_0331 ） ほむら「 ……よつと。おーできたできた。お姉ちゃんゴムつけるの 上手くない？」
	右耳・囁き（正面・近めから顔を動かしながら）
	（ hnt_0332 ） ほむら「 それにい……おちんちんの扱い方も上手になったでしょ？」
	（ hnt_0333 ） ほむら「 ふふっ……あ、これ一度外してもいい？ ちよつと試してみたいことがあるの」
	※SE：コンドームを外す
	正面・近め（右耳・囁き距離から移動しながら）
	（ hnt_0334 ） ほむら「 もったいないけど、新しいのを開けて……」

## ※SE：コンドームの袋を破る

正面・近め（しゃがみながらうつむく）	
（hmt_0335）ほむら「いくよ？ 先っぽにかぶせてから……ん……はむ、ん…… ぢゅ……んぢゅ……ぢゅるる……ずず……んふ、ん、 んんっ……ちゅううっ……ぽっ！」	
正面・近め（しゃがんだ状態から立ち上がりながら）	
（hmt_0336）ほむら「えへへ、できた！ お口でつけるの成功〜！ どうどう？ 手でつけるより興奮した？？」	
（hmt_0337）ほむら「お姉ちゃん的には、ゴムをつけるコツはアレだね。 つけてる間も萎えないように刺激してあげること」	
左耳・囁き（正面・近めから顔を動かしながら）	
（hmt_0338）ほむら「……特にうちの弟くんは、ゴムつけてると、 やる気なくしちゃったみたいに萎んでいっちゃうから」	
正面・通常（マイクに背を向けながら）	
（hmt_0339）ほむら「よし、このお便りの回答は、そんな感じかな。 でも、このラジオネーム可哀想じゃない？ 『処女はつまんないと言われた』さんって……」	
正面・近め（振り返ってマイクに近付きながら）	
（hmt_0340）ほむら「……実際に処女の姉を相手してみようだった？ やっぱり、つまらなかった……かな？」	
（hmt_0341）ほむら「今、選ぶとしたらどっち？」	
右耳・囁き（正面・近めから顔を動かしながら）	
（hmt_0342）ほむら「バージンで色々ときこちなかったお姉ちゃん……」	
左耳・囁き（右耳・囁き距離から顔を動かしながら）	
（hmt_0343）ほむら「弟といっぱいエッチして、 おちんちんの扱いが上手になったお姉ちゃん……」	
（hmt_0344）ほむら「ふふっ……自分でも、こんなエッチな子になるなんて、 思わなかったなあ……」	
（hmt_0345）ほむら「……このおちんちんのせいで、 エッチな女の子にされたんだよ？ 自覚してる？」	
（hmt_0346）ほむら「ん……ゴム外すね。今日のお勉強はおしまいっ」	

※SE：コンドームを外す

		正面・近め（左耳・囁き距離から顔を動かしながら）
	（ hnt_0347） ほむら「 ……えっと……このまま朝まで…… いっぱいエッチしたいところだけど……」	
	左耳・近め（正面・近めから移動しながら）	
	（ hnt_0348） ほむら「 たまにはくっついてイチヤイチヤするのいいよね。 添い寝添い寝っ。ぎゅーってして、ぎゅーってっ♪」	
	（ hnt_0349） ほむら「 ……エッチしたあととかもね、こうやってくっついて、 頭を撫でてもらうの好きなの…… 安心して、すぐ眠くなっちゃうけど……」	
	（ hnt_0350） ほむら「 ……………」	
	（ hnt_0351） ほむら「 ……あのね、怒らないで聴いてほしいんだけど…… ずっと、謝ろうと思ってたんだ……」	
	（ hnt_0352） ほむら「 毎日毎日、恋人でもないのに…… エッチなことに付き合わせちゃって……」	
	（ hnt_0353） ほむら「 最初の頃は、台本でわからないこととか、書いてあることを 実際にやってみたくて色々お願いしてたけど…… 最近ね、仕事であつたストレスを忘れるために おちんちん触ったりとか……しちゃって……」	
	（ hnt_0354） ほむら「 この仕事、大好きなんだけど……収録も大変なんだよね。 台本が誤字だらけだったり、収録が始まってるのに、 全部の台本が届かないこともあつたり……」	
	（ hnt_0355） ほむら「 収録が始まったら始まったで、最初に演技して、 メーカーの人がリテイクを出してくるんだけど…… 録り直してみたら、やっぱり最初の方がよかったとか、 今の演技で始めから録り直してもいいですかとか……」	
	（ hnt_0356） ほむら「 ……もちろん、仕事だから笑顔で『大丈夫です！』って 答えるよ？ でも、そういう細かいストレスが、 どんどん溜まっていつちゃって……」	
	（ hnt_0357） ほむら「 気がついたら、愛想笑いばかり上手くなってる。 自分でも、いつ本気で笑ってるのかわからなくなる くらい……」	
	（ hnt_0358） ほむら「 ……でも、こうやってお家でくっついいたり、 甘えたりしていると、心がすごい楽になるの」	

左耳・近め（前ページからの続き）

（ hnt\_0359 ） ほむら「お姉ちゃん、姉弟で話してる時だけ、素の自分でいられてる気がするんだ……」

（ hnt\_0360 ） ほむら「だから……もしカノジヨができちゃったら、こういう生活は終わりにするけど……」

（ hnt\_0361 ） ほむら「それまでは、お姉ちゃんの……彼氏っぽい弟？……みたいな感じで、いてくれる？  
な、なんか告白してるみたいだけどっ」

正面・近め（左耳・近めから移動しながら）

（ hnt\_0362 ） ほむら「……あれ、寝ちやつ……てる？  
……静かに聴いてくれてるなあと思ったら……もう……」

（ hnt\_0363 ） ほむら「でも、お姉ちゃんと同じように……  
安心してくれてるってことなのかな」

左耳・囁き（正面・近め移動しながら）

（ hnt\_0364 ） ほむら「そうだと……いいな……」

※シーン転換（ラジオの１シーン・通常マイクで収録ここから）

正面・近め

（ hnt\_0365 ） ほむら「はい、じゃあ次のお便り。  
ラジオネーム『お姉ちゃん大好き』さんから」

（ hnt\_0366 ） ほむら「『ほむらさん、ほむらじわー』ほむらじわー。  
僕にはひとつ上の姉がいるのですが、いつも仕事でがんばっていて、それを応援しているうちに、ひとりの女性として好きになってしまいました。でも、それを打ち明けて今の姉弟の関係を壊してしまうのが怖いんです。どうしたらいいでしょうか？アドバイスよろしくお願いします』」

（ hnt\_0367 ） ほむら「……あー、わたしにも弟がいるんですよ。ひとつ下の。それがもうかわいくてかわいくてですね、完全にブラコンなんですけど、うーんそっかあ……ひとりの女性として好きに……ううん……ほむ拉的には、打ち明けてしまっいいいと思っんですけどねー」

（ hnt\_0368 ） ほむら「だって、好きになっちゃったら……誰にも止められなくないです？  
周りがどうこう言っただって、自分が納得しなきゃ……ね？たとえ姉弟でも、あきらめるのとか無理でしょ」

正面・近め（前ページからの続き）	
（ hmt_0369 ）ほむら「なので、ほむらお姉ちゃんとしては、勇気を出して、告白してみるのがいいと思います。 その結果がどうあれ、姉弟の関係が壊れることなんてないんじゃないかな。好きになっちゃったらしやうがない！個人的にも、とても応援してます。がんばって！」	
（ hmt_0370 ）ほむら「それでは次のお便りにいってみましょう」	
※シーン転換（通常マイクで収録ここまで）	
※SE：ドア開く	
正面・遠め（マイクに背中を向ける）	
（ hmt_0371 ）ほむら「ただいまー」	
正面・遠めからマイクに近付く	
（ hmt_0372 ）ほむら「ごめんね、収録で遅くなっちゃって。晩ご飯すぐ作るね」	
正面・近めからあちこち移動・部屋に荷物を置いて台所に向かう）	
（ hmt_0373 ）ほむら「……え、大事な話？ なになに、帰ってきて早々。 んじゃあ、一緒に向こうで晩ご飯の準備しながら話そ？」	
現在の位置から、マイクに背を向けながら）	
（ hmt_0374 ）ほむら「もうお腹へっこへっでさー……」	
※END	